

第43回愛知県障害者技能競技大会

建築CAD 競技課題A

次の注意事項及び指示事項に従い、競技課題B（図面枠作成指示書、スケッチ、構造断面リスト、建具リスト）を読図し、CADシステムを用いて、指定された図面枠を作成し、その枠内に建築基本設計図（1階平面図、2階平面図、南立面図、断面図）を作図する。

1. 競技時間

競技時間 3時間

2. 注意事項

- (1) 競技中は、競技課題A、競技課題B、選手が持参するもの、主催者から許可を受けた器具以外の持ち込みを禁止する。
- (2) 競技者が、主催者の用意する器具以外の器具を持ちこむ場合は、競技事前説明前までに、主催者の許可を受ける。ただし、それらの動作に関しては、競技者の責任とする。
- (3) 競技課題B（図面枠作成指示書、スケッチ、構造断面リスト、建具リスト）は、競技大会当日に配布され、競技終了時に回収する。
- (4) CADシステムの設定については、競技事前説明時に競技委員の指示に従うこと。
- (5) CADシステムの設定時、CADシステムに主催者から許可された以外の情報（図形、文字など）を登録することを禁止する。
- (6) 競技中は、機器とデータの貸し借りを禁止する。
- (7) 作成する競技課題Bのデータは、競技大会当日に支給されるUSBフラッシュメモリーにDWG形式で保存し、競技終了後に提出すること。安全のため適時、競技用パソコンのハードディスクや支給されたUSBフラッシュメモリーに保存しても構わない。
- (8) 競技が終了したら競技委員に申し出る。

3. 支給材料競技課題提出用として下記のもので用意支給される。

- (1) A3プリンタ用紙3枚（競技前のCADシステム設定時は、無制限）
- (2) USBフラッシュメモリー（外部記憶装置）

4. 指示事項

- (1) 図面表現は、基本的にISOに従うが、国内では入手困難なため、下記の規格、指示、競技課題に記載されている情報に従う。ただし、競技課題Bを最優先させる。

JIS 規格番号	JIS 規格名称	指 示
JIS Z8312	線の基本原則	
JIS Z8321	製図－表示の一般原則－ CADに用いる線	
JIS Z8313-0	製図－文字－第 0 部:通則	
JIS Z8317-1	製図－寸法記入方法－一般 原則、定義、記入方法及び 特殊な指示方法	
JIS A0101	土木製図通則	6.線、10.図形の表し方のみに従う。 ただし、線の太さの組合せは、表3線の太さの組合せの0.25の行に記載されている線の太さの組合せを用いる。また、方位表示、設備機器等の線の太さは、図形記号の太さを適応する。
JIS A0150	建築製図通則	12.3、13.2.9～13.2.10.1、13.3.3、13.5のみに従う。

- (2) 課題の建築物は、RC造である。
- (3) 図面枠は、図面枠作成指示書に従う。
- (4) 図面枠右下の欄に、競技者番号、氏名を記入する。
- (5) 図面レイアウトは、スケッチと同様のレイアウトにする。
- (6) スケッチに寸法記入のない部分は、方眼（1マス＝500mm）を参考に判断する。
- (7) 躯体寸法は、構造断面リストに従う。
- (8) 建具寸法と表現は、建具リストに従う。
- (9) 提出図面の縮尺は1：100とする。
- (10) 競技中のプリンタ出力は、提出図面の出力を含め3回（枚）まで可能とする。
- (11) 提出図面はA3サイズでプリンタ出力したものとする。
- (12) USBメモリにはプリンタ出力したものと同一ものを保存する。
- (13) 保存・提出するファイル名は競技者番号－氏名とする。
- (14) 上記以外は、主催者の指示に従う。

5. 建築CAD 使用工具等一覧表

(1) 競技者が持参するもの

品名	規格	数量	備考
スケール	ミリメートル用	適宜	
筆記用具		適宜	鉛筆・シャープペンシル・マーカ等
電卓		適宜	

注：持参するものは、上表に掲げるものに限る。

なお、これらのうち必要がないと思われるものは持参しなくてもよい。

(2) 会場に準備されているもの

品名	規格	数量	備考
CAD ソフト	AutoCAD 2020	1	
パソコン	Windows10 Enterprise LTSC(64bit)	1	
プリンタ	A3の用紙にプリント可能なもの	1	全体で1台
OAデスク及び椅子	OAデスクは、使用機器が置ける程度のもの	1	
USBフラッシュメモリー (競技課題保存・提出用)		1	

※ パソコンは、液晶ディスプレイ、JIS標準配列キーボード、マウス、USBポート、CD/DVD-ROMドライブを装備しています。